

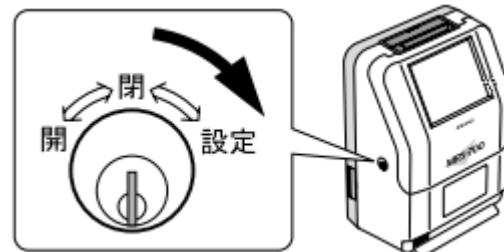


打ち忘れなどをした場合は、[打刻訂正処理]で行ってください。[時計設定]で日付や時刻を戻して打刻すると、現在までの打刻データが削除されたり、「MRS-500」が使用できなくなることがあります。

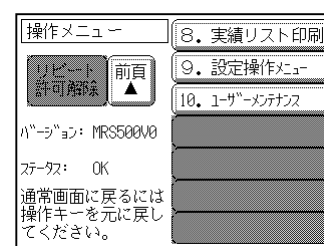
例：午後 1 時 30 分に設定する場合。

## 1 管理錠にカギを差し込み、右（「設定」の位置）に回します。

[操作メニュー]画面を表示します。

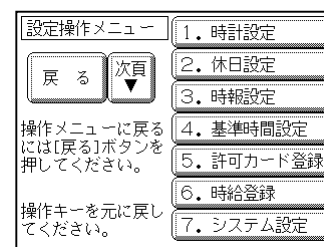


## 2 ボタンを押し、 ボタンを押します。



## 3 ボタンを押します。

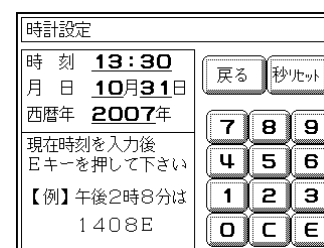
[時計設定]画面を表示します。



## 4 時刻を修正します。

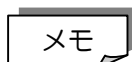
例題の操作

- ① 数字のボタンの を押します。
- ② ボタンを押します。



時刻の修正は終了しました。 ボタンを押すと[設定操作メニュー]画面に戻ります。

「月 日」・「西暦年」を修正する場合は、カーソルを修正する項目に合わせ、数字ボタンと ボタンを押して修正します。



- 現在入力中の項目はカーソルが点滅しています。
- カーソルは ボタンを押すごとに、【月】【日】【西暦年】【時刻】の順に移動します。
- 00 秒ちょうどに時計を合わせるときは、 ボタンを押します。
- 時計は 24 時制・年は「西暦年」で入力します。
- 「MRS-500」の時計の精度は、「気温 25℃±5℃の環境で通電時週差±3 秒以内」です。  
気温 25℃±5℃の環境に「MRS-500」を設置することをおすすめします。